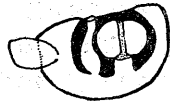


池デアツテ、約 1000 坪ノ池面ノ 9 割近クハ完全ニコノ浮草デ覆ハレ、僅カニうきくさ混ヘテキルニ過ギナイ。雨デ池水ガ溢レルト、池畔ノ道ノ上ニ厚サ 10 cm 位ニ積ル位デ、大イニ繁殖シテキルノデアルガ、中路ノ觀察ニヨルト二三年前迄ハ全然發生セズ昨年ノ 5 月頃カラ急ニ猛烈ニ繁殖シ始メタモノデアル。昨年迄ハ渡鳥ガ飛ンデ來タ事ガアルカラ、ソノ爲ニ持込マレタモノカトモ思ハレルガ、近來熱帶魚ノ商人ガ種々ノ水草ヲ輸入シタ事實ガアルノデ、ソレガ逸出シタモノカモ知レナイ。何レニシテモ三木博士ノ説ノ如ク今迄分布ノ機會ヲ得ナイタメニ生育シナカツタノデ、コノ汎世界的ノ分布ヲ有スル浮草ハ東京附近デモ充分生育シ得ル事ガ判ル。RIDLEY ニヨルト急激ニ繁殖シテ又忽チ中ニ消滅スル事ガアルト言フカラ、今後注意シテ見タイ。澤山ノ個體ニ就イテ見タガ花ハ發見デキナカツタ。全體ハ鮮綠色ノ楕圓體デ、大キナモノデ長サ約 580  $\mu$ 、幅 420  $\mu$ 、厚サ 480  $\mu$  アリ、背面ハ平タク腹面ハ圓ク舷ニアタル部分ハ角バツテキル。一層ノ表皮ノ細胞ハ略ニ一樣デ小形(約 25  $\mu$ ) デアルガ内部ノ細胞ハ背面デハ小サク(約 30  $\mu$ )、腹面ニ至ルニ隨ヒ大キク(約 100  $\mu$ ) ナル。背面ニハ數個ノ氣孔ヲ有シソノ長徑ハ約 160  $\mu$  アル。此等ノ性質ハ HEGELMAIER ノ記載ト全ク一致スル。本誌 14 卷 2 號ニ佐藤月二氏ハ京城カラ *Wolffia* ヲ紹介サレタガ、東京ノモノモ殆ンド違ハナイ。背面ニ乳頭細胞(Papillenzelle) ノ見ラレル事モ同様デアル。唯同氏ノ葉脈ト見做サレル細胞列ハ認メラレナカツタ。サテ日本デ最初ニ *Wolffia* ヲ採集シタノハ牧野先生デアル。ソノ標本(臺北、Nov. 1896) ガ東京帝大ニアルノデ煮戻シテ見タ。アマリ良クハ復原シナカツタガコレモ亦東京ノモノト同種ト認メル。日本デ今マデ發見サレテキルモノノ學名ハ正宗氏ト同ジク *Wolffia arrhiza* WIMMER ヲ用ヒタイ。牧野先生カラノ來信ニヨルト、和名デハこつぶうきくさ(牧野)ガ最も早く、みぢんこうきくさハ第二次ノ名デ又最近こなうきくさ(正宗)ガ追加サレタ事ニナル。*Wolffia arrhiza* ノ花ハ背面ノ平タイ所ニ穴ガアイテソノ中ニ雄蕊ト雌蕊ガ一本宛立ツト言フ顯花植物中デ最も簡單ナモノデアルガ、日本デハ誰も見タ事ガ無い筈デアルカラ同好ノ人ハ是非コレヲ見出シテ頂キ度イモノデアル。圖ノ左端ハ娘芽(Tochterspross)、中央ニ黒クナツテキル所ハ花孔(Blütengrube)、ソノ中ノ左側ニ立ツテキルノガ雌蕊、右側ニ立ツテキルノガ 2 室ノ葯ヲ有スル雄蕊デアル(HEGELMAIER: Die Lemnaceen, eine monographische Untersuchung, 1868 ヨリ縮小轉寫)。中井教授ハ學生ニ對スル講義中デコノ屬ヲうきくさ科(*Lemnaceae*)ヨリ分ゲタみぢんこうきくさ科(*Wolffiaceae*)ヲ建テルノガヨイトサレテキル。



(中路正義, 津山 尙)

## ○ 臺灣ニ *Portulaca quadrifida* ヲ産スル

*Portulaca quadrifida* LINNAEUS (こまつばたん, 新稱)ハアフリカ、アジアノ熱帶カラミクロネシアニ迄分布シテキル。細クテ地上ニピッタリ附着シテ匍フ莖ノ上ニハ卵形デ先端ガ尖リ明瞭ナ細イ葉柄ヲ有スル葉ヲ對生シ、莖ノ先端ニ紅色ノ花ヲ開ク小サイ草デアル。從來南洋ヲ除ク日本領内カラハ報告サレテキナカツタガ、最近臺灣ノ標本ヲ調べ見ル

ト高雄、Bakyu (漢字不明) カラノ標本ガコノ種ニアタルモノデアツタ。以前ニ紅頭嶼カラ *P. quadrifida* トシテ報告サレ、後ニ *P. quadrifida* var. *formosana* ト訂正サレ、最近 *P. formosana* ナル特産種トシテ認メラレル様ニナツタ植物ハ上記ノモノニ關係ガナイモノデ、コレハ寧ロすべりひゆ型ノモノデアル。(津山 尙)

### ○ たいわんわだんノ瘦果

*Crepidiastrum koshunense* (HAYATA) NAKAI ノ瘦果ハ早田博士ノ原記載ニヨルト全然平滑ノ様ニ記シテアリ、ソノ點デ内地ノわだんと比較シテアル。最近、恒春、K. MIYAKE トアル原標本ヲ調べテ見タラ瘦果ガ未ダ若ク一見平滑ニ見エタ。併シ、驚愕鼻デ早田博士ノ採集サレタ標本ニハ充分成熟シタ瘦果ガアリ、コレニヨツテ見ルト「瘦果ニハ下方 2/3 位ノ所迄ハ殆ンド平滑カ又ハ單細胞ノ小疣狀ノ極小突起ガアルガ 2/3 ヨリ上方デハ疣ハ段々ト鋭イ齒ノ様ナ單細胞ノ透明ナ突起又ハ短毛トナツテキテ、シカモソレガ密ニ分布シテキル」ノガ正シイ事ヲ知ツタ。(津山 尙)

### ○ マリアナ群島ノ *Myoporum* ニ就イテ

*Myoporum* aff. *tenuifolium* FORSTER f. トシテ金平亮三博士ニヨリマリアナ群島ノ南部ノロタ、テニアン兩島カラ發表サレタモノガアル。コレハ初島佳彦氏ニヨリ *Myoporum tenuifolium* ソレ自身トシテ認メラレ、ニューカレドニア、濠洲北部ヨリロタ、テニアン兩島ヲ經テ小笠原島ニ迄分布スルモノトサレタ。初島氏カラ送付サレタテニアン島ノ標本ニツイテ調べテ見タ所、確ニ小笠原島産ノモノト同種デアル。シカシニューカレドニア産ノ眞ノ *M. tenuifolium* ハ DC. ノ Prodr. ニツイテ見ルニ “...., limbæ corollæ imberbi. トワザワザ斷ツテアリ、又 F. MUELLER ノ Fragmenta Phytographiæ Australiæ ニツイテ見テモ “Lobus corollæ infimus saepe barbatus” トアリ花冠ノ邊緣部ハトモカクソノ基部ノ方ニハ毛ノアルモノデアラシイ。コノ事ハ BENTHAM ノ Flora Australiensis ノ *M. acuminatum* ノ項ノ所ニモホノメカサレテキル。小笠原島産ノモノハ花冠ハ全然無毛デアル。*Myoporum* ノ種類ノ分布ハ一般ニ案外ニ狭イモノデアルカラ、小生ハマリアナ群島産ノモノハ濠洲方面ノモノニ關係ガナク、小笠原島カラ南下ジテ分布シタモノト考ヘテキル。小笠原島デハ最北端ノ釐島列島カラ父島マデ分布シテキテ、母島列島ニハ小サナ屬島ニノミ生ジテキル。(津山 尙)